

印刷情報誌

いんさつじょうほうし

H27

9

Vol.1

発行

株式会社フロム・エー
秋田市卸町3丁目5番5号

TEL 018-864-3784

FAX 018-865-6006

Print information magazine Co., Ltd. From A Vol.1

創刊



Contents

- ◎相手先名の(株)・(有)・(財)などの間違った使い方
- ◎名刺の基本
- ◎パンフレットとリーフレットの違い
- ◎覚えておきたい封筒の『封字』

profile



代表取締役

五嶋 建二

趣味／海釣り・ベタタンク
サイズ／L

- ◎秋田県印刷工業組合 副理事長
- ◎秋田県ベタタンク連盟 会長
- ◎大町商店街組合 副理事長

フロム・エーという会社になって初めての発行となります。以前は不定期ながらも佐々木印刷で平成十年から十四回発行しておりました。印刷業は一般的に理解されにくい業種にあたるため、少しでもお客様との距離を縮め、弊社がどのようにして仕事を承っているのか、そして社員がどのような作業をしているのか、またどんな雰囲気のか、ということを知っていただきたと思いい、発行したのが始まりです。

さらに、お客様との仕事をスムーズに執り行い、トラブルを避けるために印刷の『あれこれ』を掲載したりしました。

しかし、時代とともに印刷受注の形態も変化してきているため、以前とは違ったことをお客様にご理解いただきながら、新たに情報を提供させていただきます。フロム・エーとして情報誌を発行することに致しました。

株式会社フロム・エーは こうして生まれました

FROM

光陽印刷と佐々木印刷が合併して出来た会社です。

平成十八年七月に合併し、代表取締役には五嶋建二が就任しました。「フロム・エー」という社名は、合併して両社が新たに再スタートしようという意味から、「一から始めよう」→「フロム・ワン」、「秋田から発信しよう」→「フロム・AKITA」の二つの意味を込めて、アルファベットの一番最初(ワン)の「A」をとり「フロム・エー」になりました。

昔、テレビ番組で、三十歳から起業したことで「フロム・サーター」という社名を付けていたものがあり、その記憶が強く残っていたことで「フロム・●●」を提案したという理由も背景にあります。

※光陽印刷／秋田市大町に社屋があり、五嶋建二が二代目として社長に就任しました。

※佐々木印刷／現在の秋田市卸町の社屋で営業しております。



相手先名の

(株)・(有)・(財)などの
間違った使い方

印刷依頼される際に名刺や封筒に(株)や(有)を使用されている場合がまれにあります。

名刺や封筒は、それを渡す相手先に自社の名称を提示するものでもありませんので、(株)や(有)は使用しないようにします。また、相手先の社名にも(株)や(有)を間違って使用することが多くあります。これは相手先(お客様)に大変失礼なことをしていることに当たります。

納品書や請求書、また手書きで領収書を書く際にも(株)や(有)などは絶対に使つてはいけません。

(株)や(有)は自社の書類等の管理上、相手先の目に触れない場所で使用する際に簡略化して使う場合に限られます。

これらは、電子メールにも当然当てはまります。一部上場の大手企業でも平気で間違っていることがあります。これは、大変に失礼なことでマナー違反になりますので、自社管理上の文書

以外には使用しないように気をつけましょう。

当社宛の郵便物の中に、
(株)フロム・A様
というものがありません。
(株)とAと樹の
トリプルパンチです。(笑)

名刺の基本

①

お客様の ありがとうございます 最速の脱動力です	〇〇部 〇〇課長 ○ ○ ○ ○	総合印刷
株式会社フロム・エー 〒010-0061 秋田市卸町三丁目5番5号 TEL018-864-3784 FAX018-865-6006 Mobile: XXX-XXX-XXXX E-mail: XXXX@XXXX.XX.XX		

②

お客様の ありがとうございます 私達の脱動力です	〇〇部 〇〇課 課長 ○ ○ ○ ○	総合印刷
株式会社フロム・エー 〒010-0061 秋田市卸町三丁目5番5号 TEL018-864-3784 FAX018-865-6006 Mobile: XXX-XXX-XXXX E-mail: XXXX@XXXX.XX.XX		

この二つには大きな違いがあります。

①の〇〇課長は課の代表でただ一人しかいません。

②の課長〇〇〇〇は、その部に属している課長で二人以上いる場合を表しています。

これも知っておくと便利なのですが、正しく名刺が作られているかが不安なところですよ。

パンフレットとリーフレットの違い

印刷物には『パンフレット』と『リーフレット』と呼ばれるものがあります。この二つの違いが意外に知られていないようです。

パンフレット

複数の紙を綴じた印刷物

5頁以上49頁未満の小冊子のことをいいます。これは国際的な基準になっています。49頁以上の非定期刊行物の冊子を『本』と定義しています。

リーフレット

一枚の紙でできた印刷物

葉を意味するリーフレット(leaflet)から、一枚の紙を折りたたむことによって、コンパクトにまとまる印刷物です。

この他に印刷広告で通販などで利用している「カタログ」や、スーパーや家電量販店の広告として使われることが多い「チラシ」、デザイン性が高くおしゃれなイメージの「フライヤー」、

街で手渡されることが多い「ビラ」の四つの紙の広告媒体について知っておくと便利です。

カタログ

「数える」という意味のギリシヤ語、『カタログス』が語源です。商品や展示物を整理して書き記したもので、図書館の目録や学校要覧もカタログの一種です。パンフレットとの違いが分かりにくのですが、形状には関係なく目録の要素を持っていればカタログと呼んでいいでしょう。

チラシ

本来、「散らし」と書かれていたチラシは、文字通り、街中のあちこちに散らばるように配られていた印刷物を指すものでした。最近では、街頭の手配りだけではなく、新聞折込やポスティング、ダイレクトメールなど、さまざまな配布方法が取り入れられています。

ビラ

ビラの語源はいくつかあって、紙片の片をビラと読むほか、紙が揺れ動く「びらびら」という言葉が由来だと

もいわれています。もともとは、人目につく場所に貼られた貼り紙が「ビラ」と呼ばれていたのですが、今では「ビラ配り」という言葉があるように、配布を目的とした宣伝用の印刷物もビラと呼ばれるようになりました。

フライヤー

「F」(飛ぶ)の名詞形のフライヤー(flyer)は、空からチラシをバラまいたことが語源だといわれています。日本語の「チラシ」とほぼ同じ意味として使われることが多いのですが、一般的にフライヤーはA4サイズの印刷物を指すという特徴があります。さらに、新聞折込やポスティングで配布される印刷物がチラシと呼ばれるのに対して、ライブや音楽イベントの告知用の印刷物を限定してフライヤーと呼ぶことが多いようです。

覚えておきたい封筒の「封字」

封字とは、確かに封をしたという印であり、途中で誰かに開封されているという証です。一般的には締める

という意味の「メ」と書きますが、これは「×」(バツ印)ではありませんのでご注意ください。特に外国の方には「×」に見えてしまうので「メ」を使わずにシールやスタンプの方がいいでしょう。

「メ」……………締めるという意味。

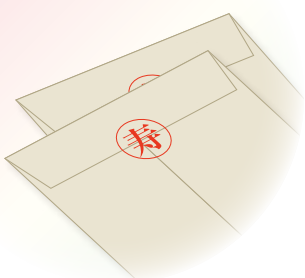
「封」……………封じるという意味(あらたまっ感じ)。

「緘」(かん)……………とじるという意味(重々しい感じ)。

「寿」……………おめでたい意を込めて、婚礼などの慶事に使う。

「賀」……………おめでたい意を込めて、祝い事や祭りごとなどの慶事に使う。

「蕾」・「荅」……………つぼむという意味で、女性のみが使える。



ペタンクってどんな競技？

「それっ！」。身をかめた姿勢で手のひらからボールと放たれた銀色の鉄球が、放物線を描いて飛んでいく。ドスンと着地し、スルスルッと転がり、敵チームの球をすり抜けて目標に近づくと「おおっっ」と大きな歓声が上がります。ペタランでなくても最後の一投で大逆転できるのがペタンクの魅力だ。



FROM・エーとペタンク

私とペタンクの関わりは二十年前（まだFROM・エーとして合併する前です）になります。今も大切なおお客様である県老人クラブ連合会と県長寿社会振興財団（LIL財団）の事業で、高齢者の生きがいスポーツのひとつとしてペタンク競技の普及をしています。そんな折、日本ペタンク連盟の講師が来県し、講習会の翌日一緒にゴルフをすることになりました。

ペタンク連盟の講師が秋田県能代市出身だったことや、年齢も近かったこともありすぐに意気投合しました。そんな中、当時の日本ペタンク連盟から「事務所が手狭のため、広いところ

ろに越したい」という話がありました。それなら当社と共同で借りたらお互いにメリットがあるのでということになり、平成十五年に日本ペタンク連盟と同居する形で東京営業所を開設することになりました。

さらには今から五年前、全国各県のほとんどの県にペタンク連盟があるのに秋田県に無いということで、以前からペタンク連盟に関わりのある私に白羽の矢が向けられ、平成二十三年七月秋田県ペタンク連盟を設立し現在に至っております。

いつでも、どこでも、だれとでも簡単に楽しめる、でもやればやるほど奥が深いスポーツ、それがペタンクです。

（五嶋 建二）



ペタンク会員募集

秋田県ペタンク連盟では随時会員募集しております。興味のある方はお気軽にお問い合わせをさせていただきます。

入会金 一、〇〇〇円
年会費 二、〇〇〇円

秋田県ペタンク連盟

秋田市卸町3-15-5
株式会社FROM・エー内

TEL 〇一八八六四一三七八四

編集後記

意外に知られていないことや、間違ったことが当たり前のように使われている現在、原点に戻って私たちがプロとしての意識をもって携わっていかなければいけないという思いから今回の特集を組みました。私たちも改めて基本的なことを学び、お客様から『ありがとう』と言われることを原動力にしていきたいと思えます。

（佐々木 渉）

一九一〇年にフランスで生まれた球技。「両足をそろえて」という意味のプロバンス方言「ピエ・タンケ」に由来するという。足元の輪の中から木製の目標球目掛けて重さ約七〇〇グラムの金属製のボールを投げ、近さを競う。球を高く投げて落とすか、手前からころがして相手の球をはじきとばすなど戦略と集中力も必要。日本ペタンク・ボール連盟によると、日本国内の競技人口は約十万人で、うち約七割は高齢者が占めるといわれている。